

「おうち DE 造形 プロジェクト」

指導教員：講師 岡野 宏宣

担当学生：谷口 真凜、田村 美咲、常木 星花、寺田 翔一、野城 絵夢、濱田 純希、
林 涼華、平井 萌々香、平口 寧々

はじめに

私たち岡野チームは、新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの遊びが制限され、おうちでの遊びに飽きてきた現状やコロナ禍でも思い切り楽しく遊びたいという子どもの思いを知りました。そこで、おうちで簡単にできる造形活動、「おうち DE 造形」をテーマに活動に取り組みました。

方法

グループを二つに分け、各グループでおうちで楽しめる活動案を考え試作を繰り返しました。その際におうちで楽しめる造形活動の条件について以下のように定義しました。

- ① 材料が安価で手に入りやすいものであること
- ② 作り方に専門性がなく、誰にでも作ることができる活動案であること
- ③ 材料、道具、工程において安全性が確保されているもの
- ④ 子どもが一緒に制作することができるものであること

上記を「おうち DE 造形」の条件として活動案を考えました。

「おうち DE 簡単楽器」

楽器は「年齢を問わず、楽しめるもの」にしました。そこで、親子で一緒にものを作る楽しさや、コミュニケーションをよりとることができたらいいなと考え、おうちにあるものでできる簡単な楽器の製作をしました。材料はおうちにあるものを主に使ってカスタネット、オーシャンドラム、太鼓の3つの楽器を作っていきます。

・カスタネット

カエルをモチーフにして、段ボールにペットボトルのキャップをくっつけて、音が出るように作りました。お尻やおなかを使って叩くとより楽しめます。

・オーシャンドラム

中が見えるように表面と裏面を透明な下敷きにして、中にビーズや海のシールなどを入れて作りました。海のシールを入れて作ることで、海を連想できる楽器になりました。

・太鼓

穴をあけて輪ゴムを通したクリアファイルをバケツに付けました。叩くバチを変えるとま

た違う音が鳴るので、自分だけのバチを作ったり、探してみてください。
 楽器製作において、はさみを使う場面があるので、横で見守るなどの配慮が必要です。
 またペットボトルにビーズを入れて、マスカラにして遊んだり、おうちにある空き箱を使っ
 て叩いたりして遊ぶのも楽しいと思います。

家にある物で作れる!! 簡単楽器

準備物

- バケツ 輪ゴム(カラビナと同等の) 段ボール
- ペットボトルのキャップ 画用紙 フリアアール 下敷き
- テープ シール 割りばし ビーズ ビニールテープ
- 穴開きバチ ハサミ スパンコール

ポイント

- 子どもができないところはパパやママがしたり、親子で一緒にしたりすると楽しい!!
- なるべくカラフルにしたりすると見栄えも良い!
- 子どもの好きで動物物をモチーフにして作ると親近感が湧く!
- 家にあるものは最寄りの100均へGO

～段ボールで作れる「カスタネット」～

作り方

カエルをモチーフ

1. 段ボールを丸く切る
※大きい方が良い◎
(フはげて書いて切る)
2. 画用紙を同じように丸く切る(2枚)
3. 画用紙を段ボールのりで貼る
★子どもの出来の絵No.1よりいいもの!
4. キャップを段ボールの先にテープで貼る
★子どもが出来る手順No.2
5. 小さめの丸の段ボールを切って、半分(ほど)左右に折り曲げて貼る
6. 画用紙を段ボールに貼りつけて目を書く

完成

～段ボールで作れる「オーシャンドラム」～

作り方

1. 下敷きに縦横10cm 横12cmを測り、ハサミで切る
※段ボールも同様
2. 横端の段ボールは縦横2cm横10cm、12cmを2個作る
※材料の大きさに合わせてサイズを変えてね
3. 片面に水色の画用紙を貼る
裏面は茶色に貼ってビニールテープで止める
4. もう片面に青色の画用紙を貼る
中にビーズを入れる
5. 上と下敷きを乗せ、ビニールテープで止める

完成

★オマケ★

- 中にビーズと一緒に魚のシールを入れると水族館っぽくてかわいい!!

～バケツで作れる太鼓～

作り方

1. バケツのふちをリボンで飾る
3cmほど大きく外側にリボンを書き、線の通りに貼る
2. 1.5cmほど空けた穴開きバチを、糸でバチを閉じ、輪ゴムを通す
3. バチの裏面を厚紙で貼る
厚紙は厚紙の下に、全ての輪ゴムにテープを渡し、縛る。
4. ビニールテープが下になるようにバチを被せる

完成

コロナ禍で行きたいところにも行きづらく、我慢を強いられている子どもたちや保護者の方に、少しでも楽しく、「おうち時間を過ごしてほしい」そんな思いからこの活動を始めました。活動案を考える時は食品を使った安全性の高い描画材ができないか複数の食材を組み合わせてみたり、食品を使ったため衛生面に気を付けるなど様々な取り組みを行いました。そのような活動の中で、道具ではなく、実際に親子でおうちの中で一緒に遊べる活動が良いのではないかと考えるようになり、「おうち DE 簡単楽器」「おうち DE 簡単楽器」という二つの活動案を考えることができました。

活動を通して、おうちにある材料や安価で手に入る材料などでも工夫次第で親子で造形化活動ができ思い切り楽しく遊ぶことができるとわかりました。今回は楽器とスライムを取り上げましたが、日常の視点を少し工夫することで、ほかにも気軽にできるおうち遊びはたくさんあると思います。今回授業で取り上げた活動案は、多くのコロナ禍で困っている子育てをしているご家庭と共有したいという思いから、親子で見て楽しめるようなフリーペーパーを想定してまとめました。今回の取り組みの中では実際にフリーペーパーとして配布することはできませんでしたが、今後は「今できることは何か」「子どもたちのためにできることはなにか」「簡単に・安全に・楽しく」できることを考え実践していきたいと思えます。